

八甲田山の火山活動解説資料（平成 27 年 7 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

地震活動は低調に推移し、地殻変動に変化はみられず、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3、図 4）

国土地理院の広域的な GNSS¹⁾ 連続観測や、南荒川山、駒込深沢の八甲田山を挟む GNSS 連続観測で、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成27年 8 月分）は平成27年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、弘前大学、東北大学、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県のデータ等を利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

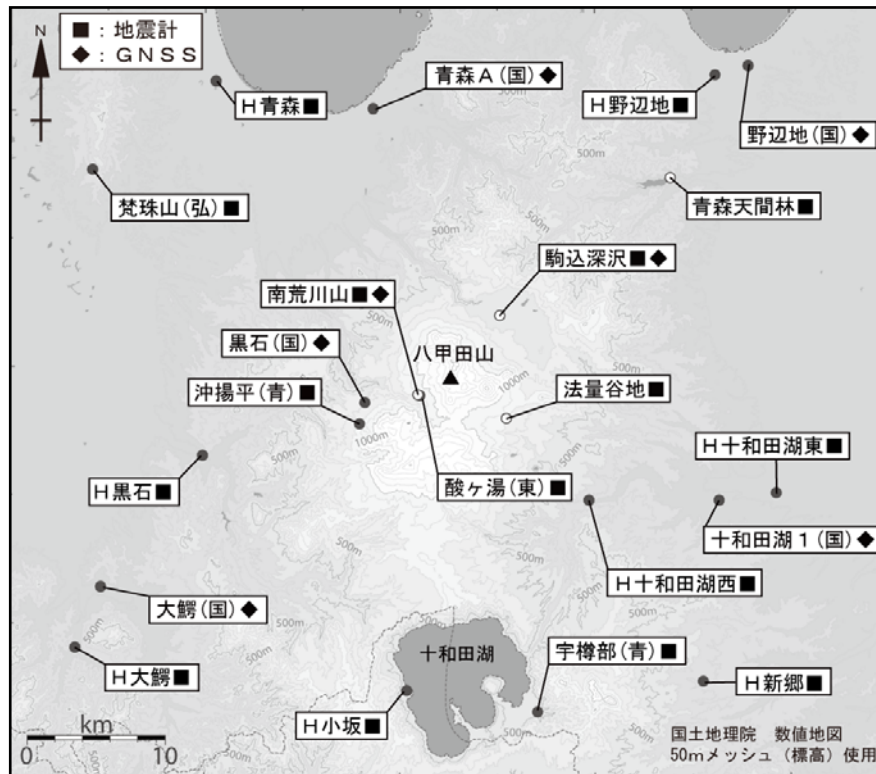


図 1 八甲田山 観測点配置図

・小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（弘）：弘前大学 （東）：東北大学 （国）：国土地理院 （青）：青森県
H：国立研究開発法人防災科学技術研究所

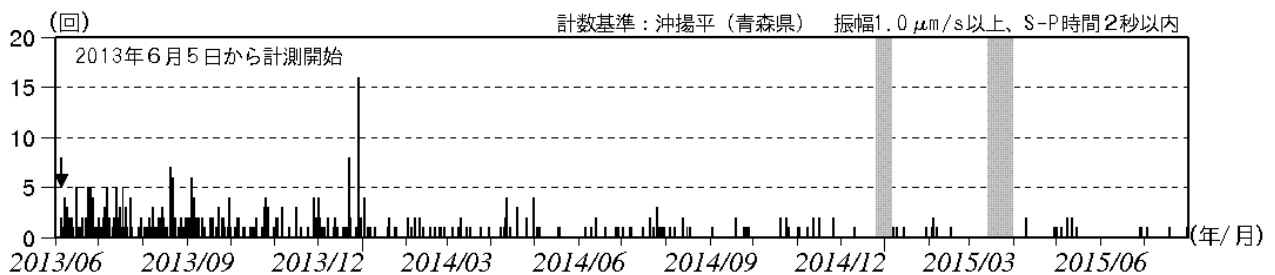


図 2 八甲田山 日別地震回数（2013 年 6 月～2015 年 7 月）

・灰色部分は欠測を表しています。

・2014 年 12 月 26 日から 2015 年 1 月 5 日及び 3 月 14 日から 3 月 31 日にかけて、基準観測点の機器障害により地震回数が欠測となっていますが、その他の観測点による監視では、この間、火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

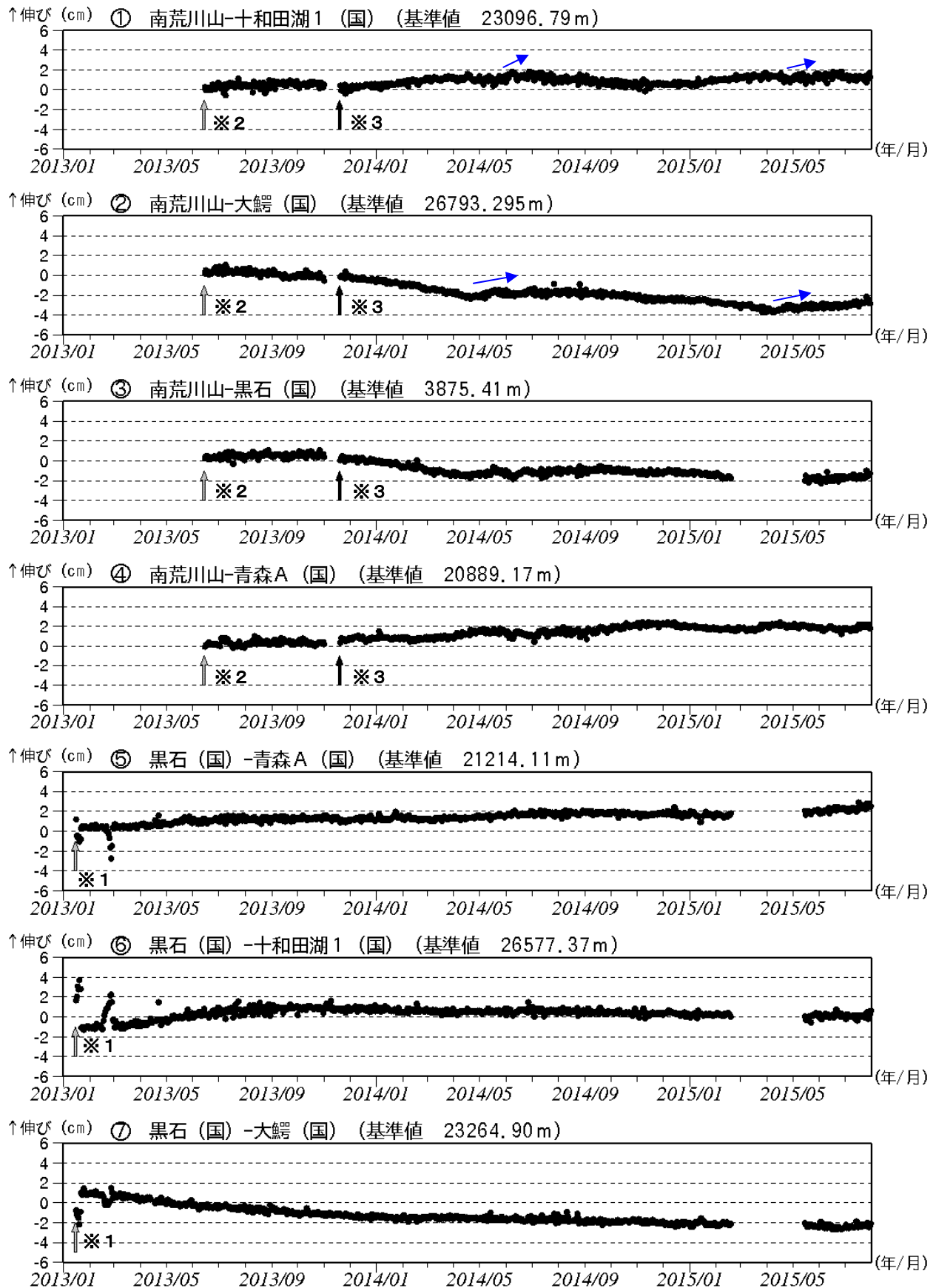


図3-① 八甲田山 GNSS 基線長変化図 (2013 年 1 月～2015 年 7 月)

- ・①～⑦は図4のGNSS基線①～⑦に対応しています。 ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ・①及び②でみられる青矢印→の変化は季節的なものと考えられます。

(国)：国土地理院

※1 2013 年 1 月 16 日より解析を開始しています。

※2、3 南荒川山 (臨時観測点) は、2013 年 6 月 15 日から 11 月 1 日まで現地収録型で運用していましたが、機器の移設・更新を行い 11 月 19 日からは常時観測で運用しています。図は基準値を補正して接続しています。

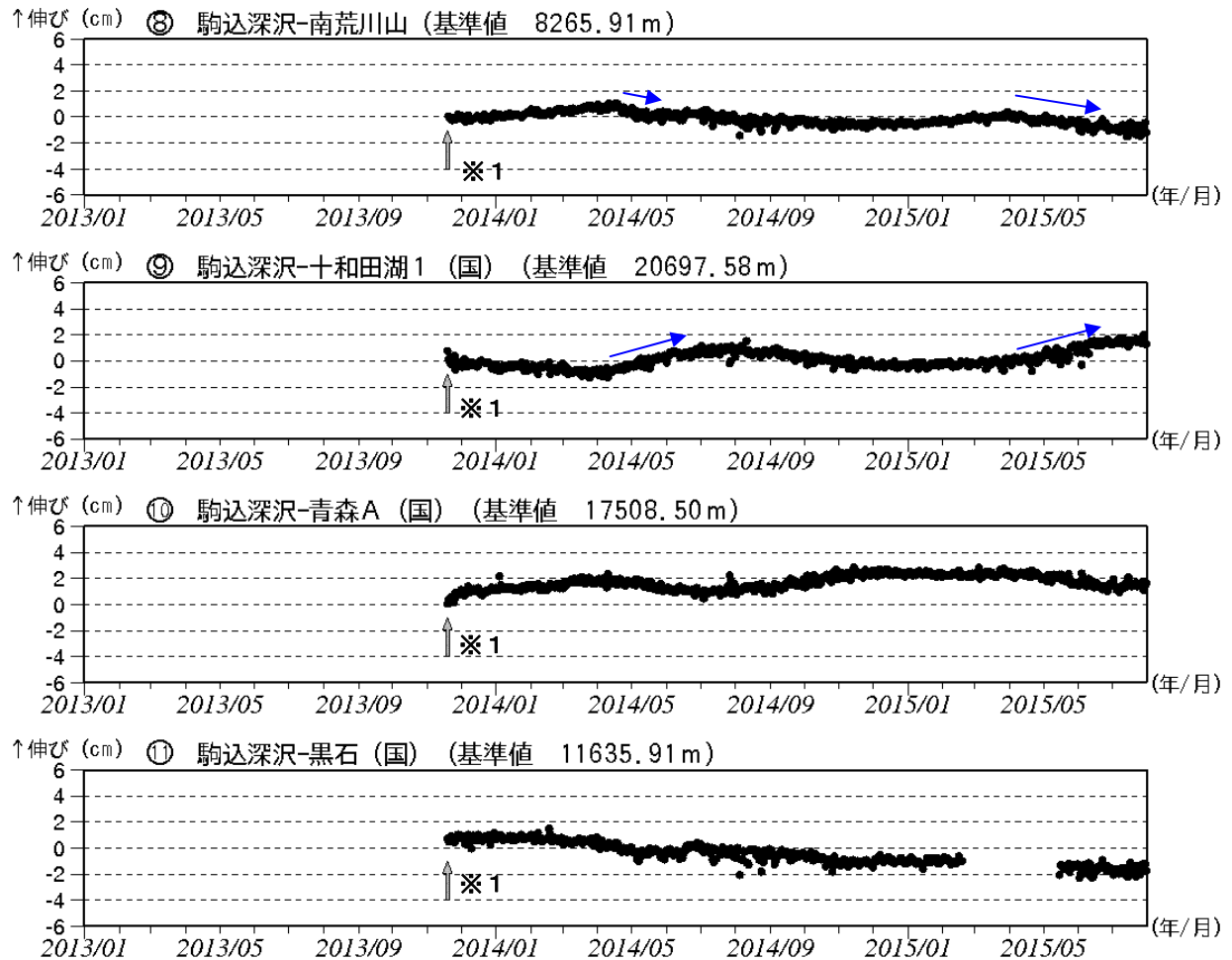


図3-② 八甲田山 GNSS 基線長変化図 (2013 年 1 月～2015 年 7 月)

- ・⑧～⑪は図4のGNSS基線⑧～⑪に対応しています。・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ・⑧及び⑨でみられる青矢印→の変化は季節的なものと考えられます。

(国)：国土地理院

※1 駒込深沢観測点は2013年11月18日から解析を開始しました。

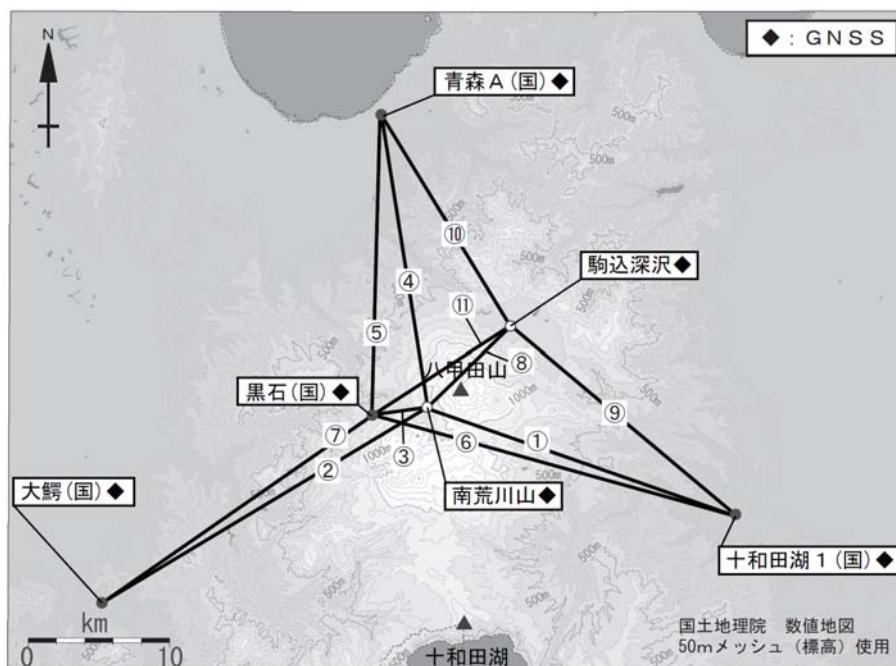


図4 八甲田山 GNSS 観測点配置図

- ・小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院